

Comment

Psychological effects of *Helicobacter pylori*-associated atrophic gastritis in patients under 50 years: A cross-sectional study

Helicobacter 22: e 12445

H.pylori 感染者における心理的ストレスを評価した論文である。平均年齢が 44 歳という若い世代であるため、*H.pylori* 感染率が 23.4%と低い対象集団であるが、975 名という大規模観察研究であることは評価に値する。男性に比べて女性で心理的苦痛とうつ病の割合が高く、閉経期以前（50 歳未満）の年代の女性では *H.pylori* 感染かつ萎縮性胃炎で心理的苦痛とうつ病のリスクが最も高くなるという結果が非常に興味深い。ただし、年代別の *H.pylori* 感染率や血清学的萎縮性胃炎の割合の記載がないことが残念である。50 歳以上の女性で *H.pylori* 感染や萎縮性胃炎が心理的苦痛やうつ病のリスクにならなかった原因が、症例数が少なかったことに起因する可能性もあるからである。また、著者が述べているように、本論文の結果の機序の解明には、ホルモンバランスや脳腸相関との関連を踏まえた今後のさらなる研究の発展が期待される。

（福島県立医科大学附属病院内視鏡診療部 引地 拓人）
